

第六十三日目

師 範：大日本帝国憲法が制定された翌年に、帝国議会の選挙が行われて、第1回の帝国議会が開かれました。限られた選挙権資格者による選挙でしたが、議員数では、自由党や立憲改進黨の民権派が多数を占めました。議会は最初から、民党と山県首相らの政府との論戦が続きました。この年には「万世一系の天皇と忠君愛国と家族制度」を柱にした教育の基本とされた教育勅語が出されました。



1890年 第1回帝国議会が開かれる。教育勅語が出る。

この1890年を覚えましょう。

ペン太：さきにわたくしが、



「ちよぐで一夜も暮れる帝国議会」

「いちや」は18、「くれ(る)」は90です。

「ちよぐ」は直後ということと、教育勅語の勅語をかねます。

師 範：なかなか深いですね。少し直して

「勅語で 一夜も暮れる 初議会」

7月に選挙が行われ、10月に教育勅語が出され、11月に帝国議会が開かれました。勅語の直後に帝国議会というのは正確な表現です。

コン太：では



「論戦で 一夜も暮れる 初議会」

「いちやもくれる」はペン太君と同じです。

似すぎていますか。

師 範：似ています。

第1回帝国議会は、民党と政府とのあいだに、激しい論戦が続きました。

そんなようすがうかがえます。

コン太：では、次に

「選挙の最初からいちやくおどり出た板垣自由党」

「いちやく」は189、「お(どりでた)」は0を表します。

師 範：言いたいことは、よくわかります。

なかなかよいですが、長いのが気になりますね。